

保険業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16～17	店舗のバックスペース内で脚立を使用してキャビネット上段に置いてある書類を入れているダンボール箱を下ろそうとした際、左足から降りていて、左足を着地するとき	51	1～9
4	8～9	にバランスをくずしてしまい、足をねじり痛めてしまった。	70	300～499
5	13～14	営業所内で出勤認証をするため慌てていて、左足を強く捻った。	47	500～999
9	14～15	道を間違え、行き過ぎた際に急にUターンしたところ、左後方にあった電柱に気付かず、首を強打したものである。	40	—
11	13～14	支社主催の研修、合宿でスポーツリクリエーションとしてフットサル大会を開催した。本人が同支社の別のライフプランナーと衝突し、相手の膝と本人の右膝がぶつかったため骨折した。	56	300～499
		約束のお客様宅を退出する際の事故。靴を履くため左足を土間に下ろそうとしたところ、上がり框に指が曲がった状態でぶつめた。左足中指骨折となった。		

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html